

1票で変える 「私たちの未来」



だまっていたら“大ピンチ”

戦争への道

先の沖縄県知事選挙では辺野古新基地建設反対を掲げる候補が圧勝し、県民の総意をあらためて示しました。

それにも関わらず、民意を無視し、新基地建設を強行しようとする安倍内閣。

しかも国会での審議を一切行わず、武器輸出容認や集団的自衛権の行使容認の閣議決定を行い、秘密保護法で国民の知る権利を奪って、日本を“戦争する国”にしようと狙っています。

“消費税は社会保障のため”というウソ

「社会保障のため」を口実に増税された消費税。

しかし社会保障のために利用された財源はわずかで、実際には全世代に負担を強いる社会保障改悪のオンパレードです。

増税不況の深刻化などで来年10月からの消費税の再増税が困難になった政府は、増税を先送りしました。

しかし、増税の実施に変わりはありません。暮らしを破壊する消費税増税はきっぱり中止すべきです。

いのちを削り続ける医療・介護改悪

- 入院時の食事療養費の大幅引き上げ
- 患者・利用者の自己負担の大幅増
- 国民皆保険制度を崩壊させる混合診療の拡大
- 要支援者の訪問介護、デイサービスを縮小・打ち切り
- 「医療ビジョン」作成で病床数を大幅削減
- 医療費抑制を自治体に押し付け

消費税増税
5%→8%へ
増収 5兆円

「社会保障の充実」に
利用されず
他の財源へ
4.5兆円

「社会保障の充実」
に利用
わずか0.5兆円

いのちより優先される「原発再稼働」

福島第一原発事故の原因の究明もされておらず、収束の見通しも立っていない中で、国は川内原発の再稼働を認めました。

多くの国民、地元の自治体住民が反対している原発再稼働を強行する姿勢は、民主主義を否定するものです。

TPPへの参加

TPPが妥結すれば、アメリカの病院チェーンの参入や混合診療の拡大など、日本の公的医療は破壊されます。農業も大打撃を受け、国民の食の安全が脅かされます。

12.14

選挙に行こう。

いのちとくらしを
守るために。



目の前にある“大チャンス”

今回の選挙は、間違いだらけの政治を転換させる大きなチャンスです。
未来を変えられるのは、私たちの意思と行動です。

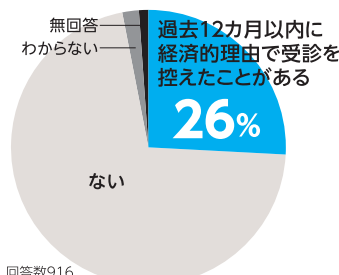


原発再稼働に
NO!



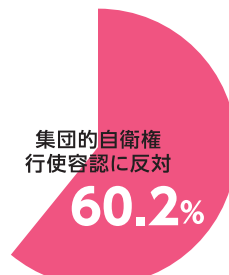
出所：「さよなら原発いのちの会」市民アンケートより

お金を理由に
4人に1人が受診を抑制



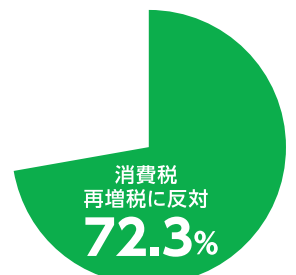
出所：特定非営利活動法人 日本医療政策機構【2013年 日本の医療に関する世論調査】

集団的自衛権
行使容認にNO!



出所：「共同通信」世論調査より

消費税10%は
ありえない!



出所：「東京新聞 朝刊」10月5日付より作成

期日前投票も利用できます。

〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター7F
TEL03-5842-6451 FAX03-5842-6460
URL <http://www.min-iren.gr.jp>